

20/4/20 河村市長定例記者会見(名古屋城部分)

名古屋市民オンブズマンによる半自動文字起こしアプリによる文字起こし

記者:新型コロナウイルス感染症の影響で、税金や名古屋城等の観光施設利用料収入の落ち込みが予想されますけど、どの程度の落ち込み額を見込んでいますか。また今後の経済対策や観光業の回復としてどのような対策を検討されているのか教えてください。

市長:名古屋城の1月の数字が出ておりますよね。

税金の落ち込みもそうですけれども、これはまず今13兆ですよ名古屋のJRPといいますけど、国の550兆GDP。それに同じやり方ですけど、数字がでておりますけど13兆。1割へっこむと税金も1割そのぐらい落ち込むだろう。

そのぐらい落ち込むだろう、1割へっこむと実は大変な恐慌になるということでございましてそういう状況です。

名古屋城は実際に現在閉園が決まっております5/10までの昨年度の来場者数と、今年度の閉園前の4/9迄の来場者数を比較しますと、約40万人のマイナスとなります。1年間ですね。

観覧料収入としては閉園する1ヶ月間で、1ヶ月で約1億6千万の落ち込となる見込です。どえりゃないかこれ。間違いじゃないか？年間じゃないか？1ヶ月か？毎月1億か？間違いな

担当者:その40万人の入場、観覧者数が少なくなることで、その観覧者数を単価で掛けますと約1億6千万円ということになります。

市長:毎月ね？

担当者:毎月じゃなくてその40万人という入園、観覧者が…。

市長:年間の？

担当者:年間じゃなくて、この5/10迄の間の40万人マイナスに対して…。

市長:……5/10……なんかよう分からんけど平均でみて、1年間の実績でということだろ？

担当者:1年間ではなくて、5/10迄の閉園するところまでの期間の間の空園者数のマイナス40万人がいますので、それに入園料単価を掛けますと1億6千万円となりますということ

市長:彼のいったことになるとえりゃいことになりますけど、内容はわかりませんが、なんとかパッと聞いたところでは、年間に勘定するというふうに思いましたけれども。一応ということをおっしゃっています。

記者:先程名古屋城の話でしたが、担当の方いらっしゃいますが、年度ってことで4/1からということですか？

市長:ちょっとここへきてちょうよ。わしも何言っとか訳わからん。

担当者:名古屋城の管理担当課長の堀田と申します。よろしくお願いいたします。
先ほどお話いたしましたのは4/10から5/10迄の1ヶ月間の、そうですね入場者数の比較で40万人の減になるだろうという、昨年度の入場者数の実績と比べまして40万人の減になるだろう…。

市長:1年間でということだろう？

担当者:その期間です。4/10から5/10迄の期間の間ということでございます。

市長:4/10から5/10。1ヶ月？

担当者:その1ヶ月の期間でということございまして、年間でいいますと昨年度実績でいいますと年間200万ぐらいの入場者数がありますので、この間ゴールデンウィークも挟みますので、特にお客さんが集中する時期を含みますので、年間の5分の1ぐらい約5分の1の40万人ぐらいが昨年の実績では観覧者がいらっしゃったということでございます。

記者:4/10にしたのは単純に1ヶ月で比較したいからということですか。4/10にしたのは何か意味はあるのか？

担当者:閉園した以降の影響ということで、4/10からということにしました。

記者:閉園したのが4/10だからということですね、わかりました。

記者:年間だと見込みはどうですか？

担当者: いつ再開園できるかというところがございますけれど、昨年の実績でいうと 200 万人というふう実績がございましたので、

このまま 1 年間ずっと閉鎖したままですと、200 万人減になるということになると思うんですけど、いつ再開園できるかによって、また再開園した後もまた盛り上げていきたいと思っておりますけれど、そこらへんは今ちょっと見込みできないということです。

市長: 当然閉鎖のままだと年間入場料収入がなくなるということだなあ。それいくら位だね、年間。

担当者: 今の観覧料収入の平均単価でかけますと 8 億位。

記者: 相当大きいですね。

市長: そりゃ大きい。

記者: 平均単価って入場料 500 円だったと思いますけど子供とか含んでいるので

担当者: そういうことでございます。お子さんが無料だったりとか割引があったりしますので平均 400 円弱ぐらいということで出させていただきます。